

検討の観点	内容の特色
1. 内容	授業がスムーズに展開できる見開き構成である。 左ページに本文を、右ページに写真・イラスト、内容確認の問い、思考力と自己表現活動の課題が設置されている。読解、内容確認、思考、自己表現活動までが一見開きで完結できる。 生徒の知的好奇心や探究心を刺激する、深みのある題材である。 言語と民族、比較文化、平和や地球環境、国際交流、科学技術や芸術、社会貢献、歴史、人間としての生き方など、多様なテーマを取り上げている。探究につながる題材も多く扱っている。 取り組みやすく、思考をうながす言語活動が豊富にある。 レッスン扉には課を貫くテーマである Focus Question を設け、課末の言語活動へとつなげている。セクションや課末にも各種の言語活動を配置している。「読んで、思考して、発信する」という流れが明確になっている。 写真、図版、グラフ、動画などの視覚資料が豊富にある。 レッスンの扉には、英文音声付きの動画 Watch the Video、図表やグラフを含む Fact File など、題材の導入のための視覚資料が用意されている。各セクションにも、写真、図版、イラストなどの授業を活性化させる素材が豊富にある。 読解力・思考力を伸長させる多様な教材が用意されている。 読解力伸長のため、題材に関連した Expand Your Perspective を各課末に配置している。ウェブサイトや雑誌、新聞などさまざまな形式と実践的な内容で、共通テスト・入試対策にも使える。 ①多様化している生徒の実態を考慮し、質・量ともに充実している。 ②中学校までの体験や学習を踏まえて、中・高の接続が円滑に行える。 ③5領域のバランスを重視し、総合的・統合的に英語でのコミュニケーション能力が育成できるように、構成・内容が工夫されている。 ④教科書の使い方、学ぶ目標、学ぶプロセス、学ぶポイントなどが、生徒たちにわかりやすく提示され、主体的・協働的な学びを促進するとともに、自ら学びに向かう力を育成できる。 ⑤基礎的な知識や技能を確実に習得し、それらの知識や技能を目的や場面、状況に応じて活用できる力を、繰り返し段階的に育成できる教科書構成になっている。 ⑥英語の文章を読んだり聞いたりすることにより、視野を広げ、ことば・文化・人間・社会・自然などについて考えたり、多くの人と関わる経験をする中で、思考力・判断力・表現力を養える。また、そうした活動・体験を通して、他を受け入れ、個人の価値を尊重することのできる豊かな心を育成し、自分の考えや自分たちの文化を外に発信していける力を培える内容になっている。 ⑦学んだ内容の深化・発展に弾力的に取り組めるように、活動、選択的教材、巻末の付録などが充実している。
2. 構成・分量	①カリキュラムと分量 教材の精選をはかり、カリキュラムにゆとりがある。 ②題材内容 ・ことばの教育、国際理解教育、人間教育を題材内容の基本とし、これらの領域で生徒の知性や感性を考慮して、生徒の興味を喚起する内容になっている。 ・題材は、日常生活・学校生活、言語と民族、国際協力や社会貢献、比較文化、平和や地球環境、自然科学や科学技術、芸術、伝統文化、歴史、人間としての生き方など多様な内容である。文章は、スピーチ、インタビュー、レクチャー、エッセイ、対話文、論説文、記事、物語など変化をもたせている。 ・場面や登場人物は、英語が広く使われている現況と国際理解の課題との関係から、日本を中心に、英米を中心とした英語圏諸国、アジア、アフリカ、ヨーロッパ、中南米の国および人物を配置している。

	③言語材料の扱い ・言語材料は、活発で多様な言語活動を展開することができる。 ・「文法事項」は、表現活動に活用することを基本として、「英語コミュニケーションⅠ」では、より基本的な文法事項が扱われている。 ・「文構造」は、英語で言語活動を行うにあたって使用できるように、より運用度が高いものが扱われている。 ・高校入門期の Lesson 1, 2, 3 は主に中学校までの復習とし、負担なく移行ができる。 ・「基本文」は脚注下段に示し、本文からの提示となっている。 ・「単語」は、中学校までの既習語を 2,217 語とし、それ以外の語を新語として脚注上段で示している。また、「連語・熟語」「表現」については、側注および脚注中段で示している。 ・「音声」については、標準的な米音を基本としている。 ④言語活動 言語活動は、主に本課本文、「Share Your Ideas」などのコミュニケーション活動、「Wrap It Up!」「Expand Your Perspective」などで、言語の「使用場面」を考慮し、目的や場面、状況に応じてコミュニケーションが図れる。また、5 領域の総合的・統合的な関連を図り、思考力・判断力・表現力を養成できるように工夫されている。「言語の働き」についても留意されており、特に会話で多用される慣用的な表現について、中学校までの体験や学習を踏まえながら、基本的なものを精選して系統的に扱っている。
3. 表記・表現、及び指導上の工夫	●挿絵や図版を適所に配置することで、生徒の学習意欲を喚起し、内容の理解を支えている。 ●用語・記号は統一されており、生徒が理解しやすい記述になっている。 ●注釈は分量・内容とも適切である。また、平易な表現で記述されており、生徒の理解を助けるものとなっている。 ●授業を支援する教師用指導書や教材、ICT ツールなどが充実している。教科書には学習をサポートする二次元コードがある。指導しやすく学習しやすい教科書である。
4. ユニバーサルデザイン	●特別支援教育ならびにカラーユニバーサルデザイン（CUD）の専門家の知見を参考に、ユニバーサルデザイン（UD）に配慮し、誰もが使いやすい教科書となるよう工夫している。 ●CUD への対応は、色覚の特性を考慮し、誰にでも見やすく、学びやすい配色にしている。識別しにくい配色は避け、色だけの違いに頼らず、形の違いや、記号・番号・説明文などの補助的な手がかりを設け、色の濃淡や罫線の使い分けなどで違いが明確になるように配慮している。
5. 印刷・造本などの配慮	●活字・写真・挿絵は鮮明で、かつレイアウトも工夫されており、学習に取り組みやすい教科書となっている。 ●教科書用紙は、環境の保護や資源の節約のため、原料や製法に配慮した環境にやさしい紙を使用している。 ●印刷に使用しているインキは、植物由来の油および、それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ、印刷インキ工業連合会認定の植物油のものを使用している。 ●製本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。また、ページの開きがよく、読みやすい製本方式を用いている。
【総合所見】 生徒の学びに向かう力を引き出す明解かつ多様な教材が採録されており、学習過程や学習内容が明確で、言語活動の充実などが図られ、質的ならびに分量も適切である。英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの 5 領域別に設定する目標の実現に向けた指導ができる。身につけた知識・技能を活用して、思考力・判断力・表現力等の育成に資する工夫を随所に施され、主体的・対話的で深い学びができる。上記の観点より、科目『英語コミュニケーションⅠ』に最も適した教科書である。	